

● 使用材料・使用器具

使用材料

| | |
|----------------|--------|
| キクスイ | 15kg/缶 |
| プライマースーパーE | |
| グラナダ弾性 | 20kg/缶 |
| 目地棒(幅8mm、厚2mm) | |

使用器具

| | |
|------|------------|
| 計量 | 秤 |
| 下塗り | エアレススプレー等 |
| 基層塗り | リシンガン又はコテ |
| 模様塗り | スタッコガン又はコテ |
| 模様付け | コテ |

● 標準施工仕様

(23°C、50%RH)

| 工程 | 使用材料 | 調合 (重量比) | 所要量 (kg/m ²) | 塗り 回数 | 工程間隔時間(hr) | | 備考 |
|----------------|--|---------------------------------|-----------------------------|----------|------------|--------------|---|
| | | | | | 工程内 | 工程間 | |
| 下塗り | キクスイ プライマースーパーE | 15kg 無希釈 | 0.1~0.19 | 1 | | 3以上 | エアレススプレー等 |
| 基層塗り | グラナダ弾性 | 20kg | 0.8~1.0 | 1 | - | 6以上 | リシンガン 口径:4~6mm 吹圧:0.5~0.6MPa コテ |
| | 清水 | 吹付け塗り 1~2kg コテ塗り 0~0.5kg | | | | | |
| 目地割り+ 目地棒貼り | 基層が乾燥後、H*W=600*900など、適度な寸法で馬目地又は芋目地の目地割付をする。 次ぎに目地割りに従い、目地棒を貼る。 | | | | | | 基準墨は元請に依頼 |
| 模様塗り | グラナダ弾性 | 20kg | 2.5~3.0 | 1 | - | | スタッコガン 口径:6~8mm 吹圧:0.5~0.6MPa コテ |
| | 清水 | 吹付け塗り 0.4~0.6kg コテ塗り 0~0.5kg | | | | | |
| パターン 付け | 材料を配り塗り後、コテで表面を当て引きしながら、カスタードクリーム調にパターン付けする。 | | | | | 追っかけ 模様付け | コテ |
| 目地棒撤去 養生撤去 | 目地棒、養生シートなどの撤去を行う。 | | | | | 直後又は 乾燥後 | |
| 最終養生 | 施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。 | | | | | 24以上 | |

● 標準施工要領

1. 下塗り

- ①下塗材は、下地の状況に合わせて、適切な下塗材を選定する。
- ②下塗りは、下地の吸い込みとそのばらつきを防ぐため、だれ、塗り残しのないように均一に塗り付ける。コーナー部など入隅、出隅は特に入念に塗付する。

2. 基層塗り

- ①開缶後缶壁に付着した主材を缶内に落とし、一度均一にまぜる。
- ②主材に、指定量内の清水を加えハンドミキサーなどで均一に混合し、定められた模様になるように粘度を調整する。計量は秤や定量ヒシヤクなどを使用する。
- ③基層塗りは、下地がスケないようにリシンガンで吹き付ける。

3. 目地割り・目地棒貼り

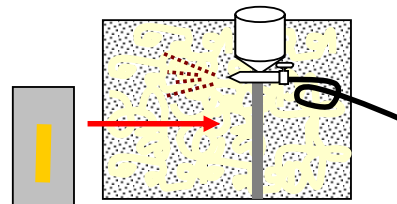
- ①基準墨を確認する。基本として元請に出してもらう。
- ②H*W=600*900など、適度な寸法で馬目地又は芋目地の目地割付をする。
- ③目地割りに従い、目地棒を貼る。

4. 模様塗り

- ①主材は定められた量の清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合する。
なお、計量は秤などを使用し、希釈水量はあらかじめ試し塗りして決める。
- ②模様塗りは仕様にあった施工用具を使用し、指定された所要量を配り塗りする。

5. パターン付け

- ①パターン付けは、模様塗り後、追っかけでコテで行う。
- ②コテで表面を当て引きしながらパターン付けする。
- ③パターンは、壁全体のバランスも考慮してコテで整える。



6. 養生撤去他

- ①目地棒・養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐにできない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行うこととする。
- ②外部施工で、施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。
- ③足場つなぎ部のタッチアップ補修を行う。